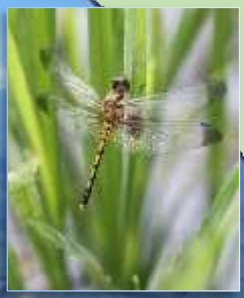
第5回 田んぼ10年プロジェクト 地域交流会 in 大潟村

7月8日(金) 13:30～17:10 会場:干拓博物館

7月9日(土) 08:30～13:00 会場:今野農園/大潟村公民館

地域の宝、地域の資源
～田んぼの生きものの底力～

元気な田んぼをそっとのぞくと、小さな命にぎわう別世界が広がっています。
クモやカエルは害虫を食べ、長続きする農業を支え
トンボやツバメが飛び交う風景は、心を育み、
イナゴ、ドジョウ、セリなどの「おかず」も沢山あります。
小さいけれど、大きな力。大潟村の田んぼの生きものを資源として見直し、
その活かし方を考えます。



田んぼ10年プロジェクト（田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト）とは

生物多様性に注目した国際条約の決議である「水田決議」を実践する取り組みです。ラムサール・ネットワーク日本が田んぼの生きものを取り戻す行動計画を作成し、国内外に参加を呼びかけ、大きな運動体となることをめざしています。

2020年までに各国がその達成をめざす、生物多様「愛知目標」と対応した「水田目標」達成のために、地域交流会などを行いながら、仲間を増やす活動を行っています。

http://www.ramnet-j.org/tambo10/

主催：ラムサール・ネットワーク日本 / 大潟村 / コガムシの会
後援：環境省東北地方環境事務所・農林水産省東北農政局・秋田県
大潟村農業協同組合・大潟土地改良区
株式会社大潟村カントリーエレベーター公社
協力：大潟の自然を愛する会・潟工房

プログラム

【1 日目】　田んぼ 10 年地域交流会 in 大潟村

（敬称略）

日時	2016 年 7 月 8 日（金）13:30～17:10
場所	大潟村干拓博物館　（大潟村字西 5 丁目 2 番地）　総合司会　安藤よしの
第 1 部	**<主催者挨拶>** 大潟村長　髙橋 浩人　**<祝辞>** 農林水産省東北農政局　環境省東北地方環境事務所 **<基調講演>**　呉地正行（ラムサール・ネットワーク日本共同代表・大潟村応援大使） **<現場からの報告>** 1）堤 朗（大潟の自然を愛する会会長）　2）石川歳男（大潟村環境エネルギー室長） 3）今野克久（コガムシの会会長）　4）近藤 正（秋田県立大学アグリビジネス学科准教授） 5）大塚和則（浦安市地域ネットワーク課長）
第 2 部	**パネルディスカッション　「田んぼの生きものは豊かな資源」** **<モデレーター>** 呉地正行（ラムサール・ネットワーク日本共同代表・大潟村応援大使） **<パネラー>**・髙橋浩人（大潟村長）・大塚和則（浦安市地域ネットワーク課長） ・今野克久（コガムシの会会長）・近藤 正（秋田県立大学准教授） ・武石朋子（潟工房代表）・伊藤秀雄（伊豆沼農産代表取締役） **【アドバイザー】** 西野　雄一（環境省東北地方環境事務所　野生生物課課長補佐）
	「コナギの日」制定宣言 <閉会の挨拶>　ラムサール・ネットワーク日本　共同代表　柏木　実

＊懇親会　18:00～20:00　ポルダー潟の湯（大潟村字北 1 丁目 3）

（敬称略）

【2 日目】　＊田んぼの生きもの調査　　＊コナギを愛でて食べる会 in 大潟村

2016 年 7 月 9 日（土）	
時間：8:30～11:00 場所：大潟村 今野農園圃場 田んぼ生きもの調査会場	田んぼの生きもの調査（主催：コガムシの会） 08:30　大潟村干拓博物館駐車場集合 09:00　会場（今野農園圃場）へ出発 09:30-11:00　田んぼの生きもの調査 終了後　コナギの会会場（大潟村公民館）へ移動
時間：11:45-13:00 場所：大潟村公民館 （大潟村字中央 1 番地 21）	第 5 回コナギを愛でて食べる会 （主催：ラムサール・ネットワーク日本、大潟村/　協力：潟工房） 11:45　開会挨拶、コナギとコナギ料理の説明 12:00－13:00　コナギ料理を食べながら意見交換 13:00　閉会

■参加申込み方法

＊大潟村環境エネルギー室　電話 0185-45-2115　FAX　0185-45-2162
E-mail g-kankyo@ogata.or.jp

＊（秋田県外の方）ラムサール・ネットワーク日本・フォームから：　**https://goo.gl/XpYruW**

＊メール・ファックス・電話での申込み：　info@ramnet-j.org　又は、TEL & FAX03-3834-6566 へ

■問い合わせ先：大潟村環境エネルギー室　電話　0185-45-2115

※この地域交流会は、ICEBA2016 のプレイベントとして開催されます。

ICEBA－「生物の多様性を育む農業国際会議」

全農　MS&AD　MS&ADインシュアランス グループ　co-op　コープネット事業連合

「田んぼの生物多様性 10 年プロジェクト」は企業からのサポートをいただいています。

この交流会は地球環境基金の助成を受けて実施しています。